



報道機関 各位

記者発表資料

平成 30 年 3 月 15 日 (木)

問い合わせ先：文化振興課

担当：小暮・平原

電話：829-1225

内線：2815

さいたま国際芸術祭

第 3 回さいたま・アート・フォーラム（有識者会議）を開催します

平成 32 年春の開催を目指す、さいたま国際芸術祭の基本構想や開催計画などについて、市民に広く開かれた場において議論を行うため、下記のとおり第 3 回さいたま・アート・フォーラム（有識者会議）を開催いたしますので、お知らせします。

記

1 日時

平成 30 年 3 月 27 日 (火) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分まで

2 場所

まちラボおおみや イベントスペース
(大宮区宮町 1 丁目 60 番地 大宮ラクーン 8 階)



3 観覧方法

さいたま・アート・フォーラムの観覧を御希望の方は、当日、直接会場へお越しください。

- ・費用 無料（出入り自由）
- ・定員 50 名（申し込み不要、先着順）

4 テーマ

さいたま国際芸術祭基本構想の改訂について
さいたま国際芸術祭開催基本計画素案について

5 有識者会議構成員（第3回開催時点）

- 芹沢 高志 P3 art and environment 統括ディレクター／さいたま国際芸術祭実行委員会参与
- 石上 城行 国立大学法人埼玉大学教育学部准教授
- 小沢 剛 美術家／東京藝術大学美術学部教授
- 澤田 英行 芝浦工業大学システム理工学部教授
- 松田 法子 京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 専任講師
- 大西 起由 さいたま国際芸術祭実行委員会事務局長

6 有識者会議構成員 プロフィール

<p>議長：芹沢 高志</p>	<p>石上 城行</p>
 <p>P3 art and environment 統括ディレクター、さいたま国際芸術祭実行委員会参与</p> <p>「横浜トリエンナーレ 2005」、「混浴温泉世界」、「さいたまトリエンナーレ 2016」など、地域のアートプロジェクトに関わるとともに、2012年からはデザイン・クリエイティブセンター神戸のセンター長を務める。</p>	 <p>国立大学法人埼玉大学教育学部准教授</p> <p>1968年東京生まれ、東京藝術大学大学院修士課程彫刻専攻修了。学生時代より人物や家などをモチーフとする彫刻作品の制作をおこなってきた。2000年代からは、ワークショップやアートプロジェクトの企画運営など社会とアートをつなぐ取り組みに携わっている。</p>
<p>小沢 剛</p>	<p>澤田 英行</p>
 <p>美術家、東京藝術大学美術学部教授</p> <p>1965年東京生まれ。東京藝術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める《地蔵建立》開始。93年から牛乳箱を用いた超小型移動式ギャラリー《なすび画廊》や《相談芸術》を開始。99年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした《醤油画資料館》を制作。2001年より女性が野菜で出来た武器を持つポートレート写真のシリーズ《ベジタブル・ウェポン》を制作。2004年に個展「同時に答える Yes と No!」（森美術館）、09年に個展「透明ランナーは走りつづける」（広島市現代美術館）を開催。13年には「光のない。（プロローグ?）」（作：エルフリーデ・イエリネク）において、初めて舞台演出、美術を手がける。13年より、歴史上の実在する人物を題材に、事実とフィクションを重ね合わせ、物語を構築する「帰って来た」シリーズを制作。</p>	 <p>芝浦工業大学システム理工学部教授</p> <p>1962年京都生まれ。芝浦工業大学、同大学院修了後、鹿島建設に勤務。様々な建築設計に携わる。BIM・ICTを活用した建築・地域デザイン、協働設計手法の研究に従事。</p>
<p>松田 法子</p>	<p>大西 起由</p>
 <p>京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 専任講師</p> <p>建築史・都市史。民家・町並みから集落・大都市まで、建築と集住体のフィールドワークを幅広く行う。近年は地形・水質・水系などと地域史を複合させた広域なエアスタディにも取り組む。さいたまトリエンナーレ 2016「さいたまスタディーズ」に参加。</p>	<p>さいたま国際芸術祭実行委員会事務局長（さいたま市スポーツ文化局文化部長）</p>